

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一宮商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考		
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価							
				指標	数値	指標	数値	総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度	補足	目標①			目標②	
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模等細企業を中心に、経営指導員等職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・確定申告期間の税務相談・労務相談等様々な経営相談に対応することにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者をはじめとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	1. 巡回窓口指導延件数 541件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 112.7%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 75.0%)	コロナ禍であったが事業者の課題に対して専門家派遣等を行い、内容の濃い経営支援と事業者の知識の習得に繋がった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	課題解決提案件数の実績が目標値より下回っているのが対策できるよりに支援を進める。
		目標数値		480	実績数値	541	目標数値					20	実績数値	15	B	B	
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 指導対象事業所数 39件	小規模事業者	指標	指導対象者数 (達成度 102.6%)	指標	(達成度 %)	記帳方法の指導・決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営状況の把握に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を図る。
		目標数値		38	実績数値	39	目標数値						実績数値		A	B	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労務・情報化等の知識習得や自治的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資力の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	1. 集団講習会 ①実施回数 3回 ②参加者数 17人	小規模事業者	指標	実施回数 (達成度 70.0%)	指標	参加者数 (達成度 23.9%)	コロナ禍で少人数の参加であったが、経営発達支援事業の「経営分析セミナー」「事業計画策定セミナー」を開催し、参加者は、事業を継続するため、自社の現状把握や事業計画の重要性を認識できた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度、「経営革新セミナー」を追加するため目標①(実施回数)を上げる。また、コロナ禍により参加者数を押さえて計数するため目標②(参加者数)を下げる。
		目標数値		20	実績数値	14	目標数値					226	実績数値	54	B	B	
青年部・女性部事業	商工業者の後継者である青年、若手後継者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資力の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。	1. 青年部活動 ①実施回数 13人 ②参加者数 68人 ・会議 23人	小規模事業者	指標	加入者数 (達成度 101.8%)	指標	事業等参加者数 (達成度 33.8%)	新型コロナウイルスにより、青年部は会議及び事業の一部を実施。女性部は会議のみ実施。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度、現行どりの目標で進める。
		目標数値		55	実績数値	56	目標数値					340	実績数値	115	B	B	
地域振興まつり事業	本宮まつりを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域の商店並びに商品の知名度の向上に努め地域観光資源(本宮の湯、砥鹿神社など)PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	1. 本宮まつり 新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	小規模事業者	指標	来場者数(本宮まつり) (達成度 0.0%)	指標	(達成度 %)	事業は新型コロナウイルスにより実施できなかった。	総合評価	D	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	来場者数を目標設定していたが正確な数値は得られないので出店事業者数に変更する。
		目標数値		8000	実績数値	0	目標数値						実績数値		D	—	
産業活性化事業	商業部会等による年末大売出しを開催し、商品のPR、店舗の活性化に資することを目的とする。	1. 商業部会年末ジャンボ大売出し ①実施日 12月3日から5日間 ②三角くじ販売口数 149口	小規模事業者	指標	大売出し販売口数 (達成度 114.6%)	指標	(達成度 %)	コロナ禍、参加店は減少したが、セット数を多く購入する店舗が数店あったので目標とした販売セット数を上回った。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	実績では目標値を上回っているが現行どりの目標で進める。
		目標数値		130	実績数値	149	目標数値						実績数値		A	B	
情報化推進事業	情報技術を活用し、会員事業者等へ有益な経営情報を提供し、経営改善の取組等に繋げ、商工業の活性化に寄与する。	1. ホームページ(情報提供) 一宮商工会ホームページによる小規模事業者、地域住民への情報提供	小規模事業者	指標	一宮商工会HP更新回数 (達成度 96.0%)	指標	(達成度 %)	事業者にとって有益な情報を提供することができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き、有益な経営等の情報を発信する。
		目標数値		150	実績数値	144	目標数値						実績数値		B	B	
労働保険事業	事業主の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付、その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業者の事務処理の負担軽減をし、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正徴収を図ることを目的とする。	1. 事務委託事業所数 29件	小規模事業者	指標	事務委託事業者数 (達成度 96.7%)	指標	従業員数 (達成度 102.1%)	労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	間違いのない事務処理と迅速な対応を進める。
		目標数値		30	実績数値	29	目標数値					190	実績数値	194	B	B	
経営強化事業(一宮経済同友会)	各種懇話会、講演会、異業種交流の事業を実施し、企業交流の場の提供、各企業の経営基盤の強化、ビジネスチャンス創出により、地域の商工業の発展に寄与することを目的とする。	1. 加入者数 41人	小規模事業者	指標	加入者数 (達成度 97.6%)	指標	事業等参加者数 (達成度 13.0%)	新型コロナウイルス感染症により会議のみ実施。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度、コロナ禍により事業を実施するか否か検討しながら進めるため目標②(事業等参加者数)を下げて進める。
		目標数値		42	実績数値	41	目標数値					300	実績数値	39	B	B	
産業団体	発展会や各種団体等の産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地域公共団体、地域社会への貢献や発展の為の活動となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	1. 産業団体加入事業所数 ①飲食店組合 40件 ②環境部会 18件 ③織績部会 3件	小規模事業者	指標	加入者数 (達成度 98.4%)	指標	(達成度 %)	産業振興団体、地域貢献団体を支援することにより組織の活性化につながった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	織績部会が解散したため、目標値を下げて産業団体を支援していく。
		目標数値		62	実績数値	61	目標数値						実績数値		B	B	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一宮商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考					
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価					今後の展開・改善点等				
				指標	セミナー参加者数 (達成度 260.0 %)		指標	セミナー参加者満足度 (達成度 125.0 %)			自己評価	満足度	補足	目標①		目標②	次年度も現行どおりの進め、若手後継者等の支援を行っていく。			
1. 若手後継者育成セミナー「経営革新セミナー」 ①実施回数 1回 ②参加者数 13人	目標数値	5	実績数値		13	目標数値		80	実績数値					100	総合評価	A		事業実施評価の	目標達成度	A
若手後継者育成事業	現在、青年部員数は横ばいから減少へと推移しており、様々な活動を行うことが難しくなっている。経営者となる若手後継者及び若手事業主である青年部員はこのような状況下でも今後変化が加速する経営環境に迅速に対応する必要がある。そのため、本事業を活用し、経営に必要な知識の習得や資質の向上のための勉強会を開催することで、若手後継者、若手事業主のレベルアップを目的とし、企業の継続的な経営を目指す。		小規模事業者																	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。